

講習会・勉強会活動報告

テーマ:「リハビリテーション病院に必要な栄養サポート

～多職種で考えるリハビリテーション栄養～」

講師:熊本リハビリテーション病院 リハビリテーション科 医師

栄養管理部部長 NSTチェアマン

吉村 芳弘 先生

日時:平成26年7月18日(金)17:30～19:00

参加者:116名



先日、院内合同研修会がありました。①サルコペニアの概要、②スポーツ栄養とアミノ酸、③リハ栄養の実践についてご講演いただきました。

①サルコペニアという言葉はsarco(筋肉)とpenia(減少)からできた造語ですが、筋肉量の減少+筋力の低下or身体機能の低下を意味します。最近話題のサルコペニアについて、原因と対策を教えてくださいました。

②アミノ酸(特にBCAA)は筋タンパク合成、筋肥大、筋肉痛抑制、運動中の筋肉疲労抑制と様々な役割があります。誰もが知っている一流シニアアスリートの栄養管理が、管理栄養士によって緻密に管理されており、年齢に負けないパフォーマンスには日々のトレーニングのみならず、毎食の栄養管理が大変重要だと知りました。

③リハ栄養とは障害者の身体機能を最大限に引き出すような栄養管理を行うことです。リハ栄養の視点で多職種が協力して関わることで、高齢者であっても驚くほど能力が改善し、リハ栄養の重要性を再認識しました。

一般的にリハビリテーションを行っている入院患者には低栄養が多いことが知られています。低栄養の患者はADL(日常生活動作)能力が低く、リハビリを行ってもADL改善率が低いとお話があり、栄養をしっかり摂ってからリハビリを実施することの重要性を研究結果を交えながら分かりやすくご教授いただきました。

講演後には、職種の垣根を越えて「リハ栄養に興味を持てた」「リハビリ+栄養で効果が向上するなら活かさない理由がない」など大きな反響がありました。



今回の院内合同研修会で学んだことを、これからの臨床に活かし、一日も早く患者様が社会復帰できるように努めてまいりたいと思います。

吉村先生には、大変ご多忙の中ご講演頂き、感謝申し上げます。

(文責:言語聴覚士 藤井鈴・松本昌代)